

## 会議結果報告書

令和5年9月11日

(宛先) 総務課長

文化振興課長

会議の名称	令和5年度第1回文化財保護審議会	
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 附属機関 <input type="checkbox"/> 懇話会等	
開催日時	令和5年8月9日(水) 13時30分～15時30分	
開催場所	舞鶴市役所 別館612会議室	
出席者	14名	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	
	<input type="checkbox"/> 非公開	[理由]
傍聴者数	1名	
議題	報告事項 (1) 令和5年度文化財関係事業について	
	協議事項 (1) 令和5年度文化財指定・登録候補の選定について	
	その他	
審議結果 及び 主な意見等	別紙議事録のとおり。	
備考		

令和5年度第1回舞鶴市文化財保護審議会

◆日時 令和5年8月9日(水) 13時30分から

◆場所 舞鶴市役所別館6階 612会議室

◆出席委員 一瀬 政人委員、加藤 晃委員、坂根 章委員、廣瀬 邦彦委員、  
松尾 象空委員、森島 康雄委員、吉岡 博之委員 計7人

◆事務局等 舞鶴市参事 福田 豊明、文化スポーツ室長兼文化振興課長 三方 理江、  
歴史文化まちづくり担当課長 松本 達也、歴史文化まちづくり係 松崎 健太、  
森 香那子、矢内 悠葵、尾崎 優太

### 1. 委嘱状交付式

委嘱状交付

参事あいさつ

### 2. 文化財保護審議会会長の選出及び職務代理者の指名

加藤委員を会長に選出

廣瀬委員を会長職務代理者に指名

### 3. 報告事項

- ◆令和5年度文化財関係事業について  
事務局より今年度事業について説明

吉岡委員:「7. 国指定重要文化財赤れんが倉庫施設整備事業」について、今年度は耐震・修理設計予定とのことだがその後の見通しはどうか。

事務局:重要文化財を後世に残す為に修理をメインに行っていく。

坂根委員:すでに改修が完了した4・5号棟の活用状況を伺いたい。

事務局:市に提出された計画に基づき民間会社が運営をしている。4号棟の2階は文化活動を行う場として活用され、赤れんがを盛り上げている。5号棟は空調を入れ夏冬においても活用しやすくなったと伺っている。多くの市民に訪れてもらっている現状。

廣瀬委員:吉原地区の舞鶴市伝統的建造物群保存事業調査報告書はいつ頃出来上がるのか。

事務局:印刷も含めて今年度3月末までには完成予定。

加藤会長:多岐にわたる膨大な事業が予定されているが、いずれも大事な事業であるので、しっかりと取り組んでもらいたい。

#### 4. 協議事項

##### ◆令和5年度文化財指定・登録候補の選定について

1点を候補として事務局から提案。昨年度も提案していた物件で、調査ができなかったことから今年度も引き続き提案するもの。

##### ①赤岩山天然杉林

赤岩山は舞鶴・宮津市境の大江山山系にあり、赤岩山から西側の舞鶴最高峰宇野ヶ岳(694 ㍓)にかけての稜線一帯に杉の原生林が良好に残っている。丹後天橋立大江山国定公園に属している。1 本立ちしている杉もあれば、根元から複数に枝分かれして生えている杉もあり。杉の原生林は珍しく、指定に向けて調査を進めていきたい。

**廣瀬委員:**文化財を指定するにあたり、この審議会ではあくまで諮問と答申を行えば良いのか、他の様々な指定候補文化財についてもさらに議論しても良いのか。本審議会は文化財の指定に向けてどのような場であるべきなのか、他市の例なども参考までに伺いたい。

**事務局:**指定候補一覧のうち損壊・消失などの危険がある文化財から優先的に指定していく予定ではあるが、委員から指定候補の提案などあれば、指定へ向け調整を進めていく。審議会の委員には指定候補としたい文化財などあれば事務局へ提案していただきたい。

**廣瀬委員:**可能であれば、来年度以降は第1回審議会の事前段階で、委員から次年度指定登録候補の文化財について意見を聞くことなどがあっても良いのではないかと。

**加藤会長:**指定文化財を新しく増やしていくことは大きな方向性として肯定されるべきことである。それに向けて、事務局で挙げている指定候補一覧を参考にしつつ、新たな指定について候補を挙げていただくのは、文化財保護審議会委員として当然の責務と考えるので、今後ともその点について各委員へお世話になりたい。

#### 5. その他

##### ◆田辺城跡第33次発掘調査成果について

今年の5月～7月末まで田辺城跡第33次発掘調査を実施し、7月15日に現地説明会を行った。細川期まで遡る石垣が出土し、一部には虎口とみられる遺構が発見された。従来、細川期の城の輪郭は絵図から推測される部分が多かったが、今回は石垣そのものによって確認することができ、注目される成果である。また、その後の京極～牧野期にかけての改修なども確認ができた。今回の発掘調査成果については報告書にまとめ今年度末に刊行予定。

**森島委員:**石垣を現地に残すことができないのは残念に思うが、どのように活用していく予定か。

**事務局:**現時点では石垣の保全方法は協議中。

**加藤会長:**細川家の城跡については様々な場所で知る機会が多い。今回発掘されたのは虎口であり、他の部分よりもイメージがしやすい場所でもあるので、可能であればぜひどこかで調査・保存・展示等していただきたい。

**森島委員:**石垣を動かすにも技術が必要になるので、石垣を移築するのであれば経験のある市町から情報を収集のうえ行っていただきたい。